ファックスで送られる場合はこちらの面を
そのまま送信してください。

088-863-1167

市長への手紙（裏面）

切り取り線

【わたしの意見・提案・要望】

件名〔　　について〕

住所	〒783- 南国市
（ふりがな） 名前	
電話番号	
※市処理欄　No.	担当

回答を希望する場合は、必ず住所、お名前、電話番号を記入してください。担当する部署から電話や書面などで回答します。ただし、市役所の業務以外のこと、個人や団体を中傷するものなど、内容によっては回答できないものもありますのでご了承ください。

◆1 のりしろ①　◆2 のりしろ②　◆3 のりしろ③　たに折り

※書き込む際は、摩擦熱でインクが消えるボールペンは使用しないでください。

居安思危（安きに居て危うきを思う）

阪神・淡路大震災から28年

平成7年1月17日午前5時46分に発生した兵庫県南部地震死者行方不明者6,434人、負傷者4万3,792人の甚大な被害をもたらしました（総務省消防庁・H18年）。

○「緊急地震速報」を知っていますか？

阪神・淡路大震災では、最大震度７の揺れが観測されました。この強い揺れを予測して、何とか事前に知らせることができないか、という考えで開発された仕組みが「緊急地震速報」です。

「緊急地震速報」とは、地震が起こったときに「今、あなたがいる場所に数秒から十数秒後に、大きな揺れ（震度5弱以上）がやってきます」ということを伝える仕組みです。この仕組みを十分に活かすことができれば、揺れにより亡くなる方を大きく減らすことができる、ということが分かっています。

○「緊急地震速報」を活かそう！

「緊急地震速報」を見聞きしたとき適切な行動をとることが、私たち自身の命を守ることにつながります。大きな揺れが始まる前に適切な行動を取ることを可能にする仕組みこそが「緊急地震速報」です。

阪神・淡路大震災をはじめ、大きな被害地震を教訓に生まれた「緊急地震速報」。私たちが活かしましょう！

参考文献）『間違いだらけの地震対策』（目黒公郎・旬報社・2007年）『緊急地震速報-揺れる前にできること-』（目黒公郎監修・東京法令出版・平成19年）

市長への手紙（市民の皆さまの声）令和5年の状況報告

令和５年４月から10月までに寄せられた「市長への手紙（市民の皆さまの声）」の状況をお知らせします。約7か月間で69件の「市民の皆さまの声」をいただきました。無記名のものを除いた29件は、文書やお電話で回答を行い、3件は対応中です。

分野別の内訳

まちづくり・交通	14	市民生活（くらし）	3
環境・ごみ	8	窓口対応・職員態度	3
子ども・教育	8	保健・衛生	2
道路・水路	6	産業・観光・イベント	2
防災・防犯・交通安全	6	情報化施策	1
福祉	4	その他	12

寄せられた声の種類

苦情	24
要望	22
意見・提言	17
問い合わせ	4
相談	1
その他	1